研究課題名

「沖縄県の医療機関における外国人受診者数と多言語対応の現状」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H28中倫小第20号）

臨床研究実施についてのお知らせ

沖縄県立中部病院では、沖縄県の医療機関における外国人受診者数と多言語対応の現状に関する臨床研究を実施しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　28年　7月　29日

【研究課題名】

沖縄県の医療機関における外国人受診者数と多言語対応の現状

【研究期間】

2016年7月29日から2017年3月31日まで

【調査対象】

１） 研究対象者

①カルテレビュー

外国人受診者：当院救命救急センター受診者のうち住所が国外の患者

②質問紙調査

医療従事者：当院医療従事者のうち救命救急センターの外国人受診者に対応する

　　　可能性がある者

２）研究対象除外基準

なし

【研究目的・意義】

　沖縄県は過去5年間で外国人観光客が約28万人から約98万人と3倍以上の増加となっている。これに伴い、県内医療機関の外国人受診者が増加しており、医療機関も対応言語の種類やインフォームドコンセントの難しさ、治療費の未清算など多くの課題を抱えていると考えられる。

　外国人患者とのコミュニケーションにおいて、言語が障害となり医療情報を提供しにくいと感じる医療者は多い。特に英語以外の言語への対応に苦慮する場面がある。

　本研究では、外国人観光客が大幅に増加している沖縄における医療機関での外国人受診状況や多言語対応を詳細に調査することで、今後取り組むべき課題を明らかにすることを目的とする。これにより、オリンピック開催を控えた日本の医療機関全体の多言語対応に対する改善提案となることを期待する。

【研究の方法】

研究デザイン：記述的研究、介入なし、侵襲なし

【個人情報の取扱い】

外国人受診者数に関しては過去のカルテレビューによる研究データとなりますが、分析の前に、個人を特定できる情報は削除して分析します。また、多言語対応に関する質問紙調査は無記名のため個人が特定されることはありません。

【研究機関】

沖縄県立中部病院

【本研究に関する問い合わせ先】

救急科　山口　裕

沖縄県うるま市宮里281

098-973-4111（内線2110）